

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：平成30年12月1日

事業所名：ひらり土居ルーム

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	2	2	1	個別対応が必要な児童が多い時は、音が苦手な児童のため戸外へ連れていく	12	5	4	1	体調によって休める静養スペースがあると良い。	事前の人数確認、外出等の行事計画を立て、準備していく。
	2 職員の適切な配置	2	3	0	その日の利用児童数に応じて職員を配置している	14	5	0	3	実際、その日に何人がどのように活動されているのか見えないので分からない。	参観日を企画し、サービス提供状況を家族の方々に見て頂く機会を作る。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	3	2	0		15	5	0	2		参観日を企画し、サービス提供状況を家族の方々に見て頂く機会を作る。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	5	0	0		15	5	0	2		参観日を企画し、サービス提供状況を家族の方々に見て頂く機会を作る。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	2	1	0		/	/	/	/		毎日のミーティングを徹底するとともに、しっかりと話し合える時間を作る。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0	3	0		/	/	/	/		保護者による評価表を活用し、業務改善していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	5	0	0		/	/	/	/		引き続き外部研修へ積極的に参加し、事業所内での伝達講習を行う。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	2	1	0		18	2	0	2		児童の生活状況にリンクさせた計画の作成や説明を意識していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	3	0	0		16	3	0	3		児童の生活状況にリンクさせた計画の作成や説明を意識していく。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	1	2	0		/	/	/	/		今まで以上に個別・集団プログラムを立て実施していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	2	2	0		19	2	0	1	個別支援計画作成後、家族に説明した後、日々のミーティングで話し合う。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	4	0	0		/	/	/	/	定期的な話し合いの時間を設けていく。
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	4	0	0		14	7	1	0	主となるプログラム以外の時間では、一人一人の希望に沿った準備をしている。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	3	1	0		/	/	/	/	主となるプログラム以外の時間では、一人一人の希望に沿った準備をしている。HP等も活用し、保護者の方も見られるようしていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	3	2	0		/	/	/	/	送迎終了後や翌日のミーティングで、児童の様子や引継ぎ事項等を話し合っている。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	4	1	0		/	/	/	/	送迎終了後や翌日のミーティングで、児童の様子や引継ぎ事項等を話し合っている。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	4	1	0		/	/	/	/	記録は全ての職員で徹底し、児童発達支援管理責任者を中心に必要な支援等について話し合っている。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	4	0	0		/	/	/	/	定期的にモニタリングを実施するとともに、家族と日々の様子について情報交換を行っている。
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	4	0	0		/	/	/	/	担当者会議等へは、児童発達支援管理責任者が中心となり参加している。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
との連携 関係機関との連携（続き）	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	0	3	0						
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	0	3	0						
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	2	2	0						保護者の了解のもと、併用されている児童については、事業所間で情報共有し、支援の方向性を統一していく。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	2	2	0						必要な情報については、保護者の同意のもと、情報提供をしている。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	4	0	0						職員のスキルアップやサービスの質の向上のため、職員全に研修の参加を斡旋している。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	1	0	3						イベント開催時に地域住民の参加が可能となる様、企画担当者を置き話し合っていく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0	2	2						イベント開催時に地域住民の参加が可能となる様、企画担当者を置き話し合っていく。
	保護者への説明責任	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	2	1	0					
2		児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	4	0	0						事業所の療育プログラムと児童の生活状況をリンクさせ、保護者の方に分かりやすい言葉で話すよう意識していきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	0	2	1		10	2	5	5	当事業所の療育プログラムに沿った説明は行っている。今後は、家族会の設立や、講演会の主催等を計画していく。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	4	1	0	送迎時に少し話すことがある連絡帳でやりとりをしている	15	4	2	1	送迎時に話をしたり、連絡帳を活用している。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	3	1	0		14	4	3	1	当事業所の療育プログラムに沿った説明は行っている。今後は、家族会の設立や、講演会の主催等を計画していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	0	1	3		1	4	14	3	家族会の設立を検討していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	3	1	0		9	5	0	8	苦情に対しては、迅速に対応することを心掛けているが周知はできていないため、今後はひらり通信等の発行を検討する。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	3	1	0		15	4	0	3	児童や家族と個別で話す機会を設けている。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報について子どもや保護者への発信	2	1	1	フェイスブックを活用している	10	6	1	5	現在、フェイスブックを活用しているが、今後はひらり通信等の発行を検討していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	5	0	0		18	0	0	4	個人情報保護への対応は十分と考えているが、具体的な対応について家族への周知はできていないため、ひらり通信の発行にて周知を検討している。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
非常時等の 対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルの策定と、職員や 保護者への周知徹底	3	1	0		6	3	8	5	事業内では対策計画を策定 しているが、家族への周知は できていないため、ひらり通信 等にて周知を検討していく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的 に避難、救出その他必要な訓練の 実施	4	0	0		3	4	4	11	年2回実施しており、フェイス ブックへもアップしている。今 後は、ひらり通信似て家族へ の周知を検討している。
非常時等の 対応 (続き)	3 虐待を防止するための職員研修機 会の確保等の適切な対応	3	1	0						外部研修や事業所内での伝 達講習を実施している。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合に おける組織的な決定と、子どもや 保護者に事前に十分に説明・了解 を得た上での児童発達支援計画又 は放課後等デイサービス計画への 記載	1	3	0	現在、このような事例がない					事例はなく、できるだけ個別 対応を心掛けているが、やむ を得ず行う場合は、事前に家 族と話し合い、支援計画にも 記載していく。
	5 食物アレルギーのある子どもに 対する医師の指示書に基づく適切 な対応	3	1	0						事前のアセスメントにより把 握し、対応している。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事 業所内での共有の徹底	4	0	0						その都度作成し、毎月協議を 行い、対応策等を検討してい る。

